サネカズラ

東山公園

葉っぱの陰にぷっくりつやつやとした赤い実が見えました。





　蔓性植物のサネカズラ。茎葉を2倍の水につじけておくと、粘液がでる。これを、奈良時代には整髪料に使っていたそうです。和紙の糊料としても使われました。赤く熟した実を乾燥した南五味子は民間療法の薬として用いられました。

　万葉集や百人一首にもよく登場します。